

路線バス通学における安全対策等について

路線バスを利用した通学について、路線バスを利用する際の気になることやその対応策について、ワークショップ形式で意見交換します。

今回のワークショップでは、路線バス通学における3つの場面及び全体的な観点から、実際に児童が通学する際に想定される気になること及びその対応策について、委員の皆さまからご意見を頂戴し、今後の具体的な取組につなげていきたいと考えています。

1 路線バス通学時の3つの場面

(1) バスに乗るまでの場面（自宅／学校から最寄りバス停まで）

- 視点**
- ・ 自宅／学校～最寄りバス停までの想定される経路
 - ・ 歩道上のバス停でバスを待っている間

(2) 路線バス乗車中の場面

- 視点**
- ・ バス乗車時（乗り方）
 - ・ バス乗車時のマナー
 - ・ バス降車時（運賃支払い、降り方）

(3) バスを降りた後の場面（学校／自宅から最寄りのバス停まで）

- 視点**
- ・ バスを降りた直後
 - ・ 学校／自宅近くのバス停～自宅／学校までの想定される経路

2 ワークショップの流れ

上記3つの場面及び路線バス通学に関する全体的な観点について、それぞれの場面・観点の気になることについて改めて意見を出しあったうえで、出された「気になること」を解決するための対応策について意見交換します。

(1) バスに乗るまでの場面・バスを降りた後の場面（30分）

- ①机上の地図を使って、バス停～自宅／学校間の想定される経路を話し合っただき、地図に経路をマークします。
- ②バスに乗るまでの場面について、想定される経路の安全性や課題、バス停で路線バスを待っている際や路線バスを降りた後の気になることなどについて意見交換し、付箋に書き出します。
- ③出された気になることを解決する方策について意見交換し、別の付箋に書き出します。

※2025年度時点、2028年度時点それぞれで①～③を行います。

A 2025年度時点：現在の本町田小学校の位置に通う

B 2028年度時点：現在の本町田東小学校の位置に通う

(2) 路線バス乗車中の場面 (15分)

- ①路線バスの乗り降りや、路線バス乗車中の気になることについて意見交換し、付箋に書き出します。
- ②出された気になることを解決する方策について意見交換し、別の付箋に書き出します。

(3) その他全体的な観点 (15分)

- ①(1)・(2)の場面以外の観点で気になることや解決する方策について意見交換し、付箋に書き出します。

(4) 結果共有 (5分)

- ・各班での議論の結果を発表し、共有します。

(参考)**●路線バスを利用する際の懸念点等 (各地区検討会でこれまでにいただいたご意見)**

- ・朝に時間どおり乗せられるか心配。特に1本乗り遅れたらというのが心配事の一つ
- ・小学生は荷物が多い(特に月曜日や新学期など)。荷物を分散して持っていけるような対応をしてほしい。
- ・子どもがバスに乗ったか、目的のバス停で降りられたか確認できる何かがあるといい
- ・通学費補助を支給する世帯としない世帯の距離の線引きが難しいと思う
- ・子どもが乗るバスが集中すると思うので、混雑的に本当に乗ることができるか心配
- ・バスが遅延したときが心配
- ・社会で生きていく上でバスに乗らないという人のほうが少ないので、社会勉強としてもそういうことを学んでいってくれたらいいなとも思う。
- ・今までいなかった子どもたちが乗ると現在利用している乗客にも影響が出るので、周囲にも理解をしてもらうために周知をしっかりとしてほしい。
- ・バス停の待つときの歩道が狭いところが心配。(山村のバス停など)
- ・バスの乗り降りがスムーズにできるかが心配。誰かついていないといけないのではないか。
- ・自分も経験していないし、子どもも経験していないので、どういったことが想定されるのかというのはいらない。
- ・お行儀よく乗っていただけるか、お話をしたり、楽しくなっちゃったりする子どもたちもよく見るので、周囲の乗客との関係が心配。
- ・早く着き過ぎちゃったらどうしようという心配がある。